

社協 だより とす

Contents

- 地域支え合い車両貸出事業 めじたん号DEかいもんgo …… P2
フードバンク事業 鳥栖ロータリークラブ寄付受納式の報告
- 社会福祉協議会会費納入のお礼
日本赤十字社会費納入のお礼と令和6年能登半島地震災害義援金のお礼
令和6年1月能登半島地震に伴う職員派遣の報告 …… P3
- 第6回ところがほっとする講演会パネルディスカッションの報告 … P4～P5
- 新会長(就任)、前会長(退任)のご挨拶
令和6年度職員採用試験(令和7年4月採用)のお知らせ …… P6
- 赤い羽根共同募金を活用した団体のご紹介
身体障害者福祉センター 講座紹介 …… P7
- ファミリー・サポート・センター
児童センター、子育て支援センター …… P8



桜ヶ丘町



西田町



～桜ヶ丘町、西田町が買い物支援活動を実施されました～

7月1日から、移動に困難を抱える高齢者の買い物を支援し、地域コミュニティの活性化を目的に地域支え合い車両「めじたん号」の貸出を開始しました。

初日の7月1日に桜ヶ丘町、8月5日には西田町で「めじたん号」を活用して地域住民の方々を商業施設まで送迎されており、鳥栖市で支え合いの輪が広がっています。

参加された皆様からは「既に車を手放していたから助かった」、「近くのスーパーが閉店し、生鮮食品が買えずに困っていたので嬉しい」、「一人で買い物するよりみんなでするほうが楽しい」、「暑すぎて外に出るのも嫌だけど皆さんとお話できてよかった」といった声が聞かれました☆三
(地域支え合い車両「めじたん号」の詳細は2ページをご覧ください。)



社会福祉法人 鳥栖市社会福祉協議会

発行

〒841-0051 佐賀県鳥栖市元町 1228-1
URL <http://www.tosu-shakyo.or.jp>
E-mail tosu-shakyo@cyber.ocn.ne.jp
TEL 0942-85-3555 FAX 0942-85-3617



～地域支え合い車両「めじたん号」について～



- ★貸出車両：ホンダ ステップワゴン(運転手含む8人乗り)
- ★貸出対象：市内の自治会
- ★貸出日時：月曜日～金曜日(9:00～16:00)※祝日・年末年始(12/29～1/3)を除きます。
- ★運行範囲：原則鳥栖市内です。ただし、事前の要望があった場合は鳥栖市近郊の利用も可能とします。
- ★運 転 者：利用される自治会で確保をお願いします(満26歳以上の方をお願いします)。
- ★利 用 料：車両の賃借料及び燃料代は無料です(赤い羽根共同募金の財源を活用しています)。
※ただし、その他必要な経費は利用される自治会でご負担ください。
- ★損害賠償：貸出時間中の事故等に係る損害賠償は、本会車両が加入する保険の範囲内で対応します。



高齢者の日常生活における買い物について、「運転免許を返納して移動が難しくなった」、「足腰が弱くなり買い物に行くのがつらい」、「近所のスーパーがなくなったため買い物に困っている」等の悩みを抱える方がいらっしゃるいませんか?、少しでも移動支援の必要性を感じている自治会がありましたら、買い物支援に「めじたん号」をぜひご活用ください!



～フードバンク事業にご寄付いただきました～



令和6年5月8日、鳥栖ロータリークラブ様から鳥栖市・みやき町・基山町の社会福祉協議会に食品の寄贈があり、鳥栖市社協で贈呈式が行われました。贈られた食品は支援先との関係づくりや、自立支援活動に継続的に生かしていきます。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

受付している食品 ○常温可能な食品 ○未開封の食料品(賞味期限が明記され、1ヶ月以上先のもの)



(左から)鳥栖ロータリークラブ天野会長、鳥栖市社協天野会長、基山町社協松田会長、みやき町社協弓事務局長



* 寄贈いただいた食料品の数々

(鳥栖市社会福祉協議会特別会員)にご協力いただいた方をご紹介します。

鳥栖地区

元町
及川 宗吉
毛利 仁之
他1名
秋葉町
池上 明子
木村 利予
他6名

鳥栖北地区

鎗田町
梁井 純輔
布津原町
鈴木 正美

田代地区

田代新町
2名
田代昌町
鈴木 重彦
田代大官町
鬼塚 多美子
轟木 享
山内 茂稔
他1名
永吉町
岩谷 武

弥生が丘地区

袖比町
今村 悦子

若葉地区

神辺町
岡本 久榮
島 哲之
長野 敏子
鈴木 登美子

麓地区

養父町
飯田 博成
古賀 照子
桜ヶ丘町
石井 竹夫
岡部 嘉和
飛松 優次

旭地区

儀徳町
赤松 隆利
古賀 和隆
古賀 素晴
野田 正憲
廣重 新興

その他団体等

鳥栖市役所部課長会
鳥栖市民生委員児童
委員連絡協議会
鳥栖市社会福祉協議
会職員一同



*氏名の許可をいただいた方のみ(順不同・敬称略)で掲載しています。(令和6年7月31日現在)

能登半島地震災害義援金にご協力いただきありがとうございます。

皆様からご協力いただきました義援金は、日本赤十字社佐賀県支部を通じ、被災者の救援活動や復旧支援の為に活用されています。

暖かいご支援に心から感謝申し上げます。

なお、受付期間は令和6年12月27日までとなっておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

日本赤十字社会費 **4,875,410円**

(令和6年7月31日現在)

日本赤十字社会費にご協力ありがとうございました

皆様からお預かりした日本赤十字社会費は、主に下記の活動などに活用されています。

- ・いのちを救うための活動：国内災害救護活動、救急法などの講習、国際活動
- ・せいかつを支えるための活動：赤十字ボランティアによる地域貢献活動
- ・ひとははぐくむための活動：青少年赤十字による学校などでの活動、看護師などの教育

日本赤十字社会費 **865,000円**

(令和6年7月31日現在)



石川県珠洲市災害ボランティアセンター運営支援報告



令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被害にあわれた皆様からお見舞い申し上げます。

私は6月4日から8日まで石川県珠洲市災害ボランティアセンターの支援に行っていました。珠洲市には毎日多くのボランティアの方々が来られ、がれき撤去や貴重品の取り出し等を行っていただいております。

被災されたお宅から戻られたボランティアの方から「まだ(活動終了時間まで)時間があるので、もう1件行けますよ!」「ボランティアにお願いするのを申し訳なさそうにされている被災者へ、困ったことがあればいつでも連絡してくださいとボランティアセンターの電話番号を伝えてきました。」等の報告を受け、現地の方の生活や心情に寄り添いながら活動してくださっているのがとても印象的でした。

珠洲市をはじめ、能登半島地震の被災地では、現在も復興活動が続いています。ボランティア活動以外にも義援金の受付等支援の輪が広がっています。今後も被災地復興のために、あたたかいご支援ご協力よろしくをお願いいたします。

総務福祉係 山下真琴

第6回

こころがほっとする講演会

7月27日(土)にこころがほっとする講演会(1部)講演会、2部・パネルディスカッションを開催しました。

今回は、パネラーをひきこもりUX会議代表理事 林恭子氏、立教大学社会学部教授 石川良子氏に、コーディネーターを佐賀県社会福祉協議会 まちづくり課 課長 小松美佳氏にお務めいただいた、パネルディスカッションの一部をお届けします！

林氏と石川氏は、およそ25年前に出会いました。当事者と研究者という立場をはじめ、様々な違いがある2人が、同じ方向を見て、同志・仲間であると言える関係を築くまでの道のりや、フラットな関係性についても伺うことができました。また、当日はお二人の講演を聴いた参加者の皆さんから出された質問や意見にお答えいただく形で進めました。

支援者として当事者と関わりを持つタイミングを教えてください。

林氏…一番理想的なのは、本人が支援を望んだときです。ご家族などから「本人に会ってほしい、話してほしい」と頼まれた場合、手紙やメモといった形であれば、一度試してみるのも良いかもしれません。手紙を受け取ってくれていれば続けても良いと思います。が、相手がそれを拒否した場合には、それ以上の働きかけは控えた方がいい。基本的に、本人が望んでいない支援はする必要はないと思います。

ひきこもりUX会議代表理事
林恭子氏



支援者に対して、ネガティブな感情を抱いたことはありませんか。

林氏…私は直接、ひきこもりの支援を受けた経験はないので、ネガティブな感情を持ったことはありません。活動をするなかで、様々な支援者の方と接しますが、そのなかには、寄り添おう、寄り添おうとする方もいます。関わってほしくないと考える当事者もいるので、(支援者が)支援することが良いことだと信じてしまうとネガティブな感情を抱くこともあると思います。支援者の方にとっては耳が痛い話かもしれませんが、不登校の子どもたちが「支援臭」という言葉を使います。「支

立教大学社会学部教授
石川良子氏



援臭」がする大人が近づいてくると、子どもたちは相手が喜ぶように支援させてあげる何かをしようと上から目線に感じられてしまうことがあります。何かしてあげようとする気持ちや態度が見えてしまうと「支援臭」としてすぐに察知されるので、難しいですね。

石川氏…「支援臭」ですね。先生という立場上、学生との関わり方を考えてしまいます。以前は、誰とでも距離を縮めようとしていましたが、最近になって、学生一人ひとりと適切な距離感を保つことの大切さに気づきました。

例えば、ある学生は、ゼミに深く関わりたいと思っているかもしれませんが、別の学生はそうではないかもしれません。学生の気持ちを探りながら、一人ひとりに合った接し方をすることが重要だと感じています。「向き合えないといけない」「向き合えないのは不誠実

である」ということではないと思います。

相手が私に対して良い感情を抱いていないと感じたり、「先生だから仕方なく付き合っている」と思われていると感じたりする場合は、無理に距離を縮めようとするのではなく、お互いが心地よく過ごせる距離感を探ることが大切だと考えています。

林氏..今の話に付け加えると、分からないことは全部当事者に聞いてほしいと思います。

「ああじゃないか」「こうなんじゃないか」という「良かれと思って」「呪いの言葉」と言った人がいます。良かれと思ってされたことで良かった試しはないんですね、あんまり。あまり先回りせずに、当事者にどのような支援を望んでいるのか、具体的に尋ねることが重要だと思います。でも、どうしても欲しいのか本人も分からない場合もある。相手の言葉に耳を傾け、一緒に考えていくこと、そしてできる限り実現していくことで、よりフラットな関係を築けるのではないのでしょうか。

ご家族からの質問です。

● 親として何かできることはありませんか。

● 発達障害があったり、朝起きができなかったりするので、子どもが進学できるか心配です。

林氏..親御さんにお願したいのは、当事者が安心してひきこまれる環境を作ってほしいということです。しっかり休まなければ、ひきこもりは長引いてしまいます。

当事者が親に望むこととしてよく挙がるのが、「親には親の人生を生きてほしい」ということです。親御さんご自身も、旅行に行ったり、趣味を楽しんだり、自分の人生を充実させてほしい。子どもは、自分のことばかり考えず、親自身の人生を生きてほしいと思っっています。自分のことばかり心配されると負担に感じてしまいます。

進学について、この先どうするか考えなければならぬ場面もあるかと思いますが、進学よりも生きていてもらうことが大事なので、そちらを優先してください。その上で、お子さんのペースに合わせてサポートしてあげてほしいと思います。

お二人から来場者へメッセージ

林氏..今回、このように二人でお話していただける機会をいただき、大変感謝しております。当事者と研究者という異なる立場から、この問題に取り組んできましたが、長い年月をかけて目指す方向が同じになっていることを嬉しく思います。石川さんが、苦しみながらもこの問題に取り組んでいた姿を覚えています。どんな支援者や家族も当事者と同

じ方向を見ることは可能だと思います。石川さんだからできたという言い方はできるかもしれませんが、誰にでも可能性はあります。私は、共に未来を見据え、歩んでいける人が一番欲しいなと思います。支え手として...。そんな姿を私たち二人から、感じ取っていたければとてもありがたく、幸せです。本当にありがとうございます。

石川氏..林さんにそう言っていただけで、とても嬉しいです。この問題に取り組むには、長い時間がかかると思っています。そこに行くまでは、七転八倒で、お互い腹を立てることもありながら、共に過ごす中で、このような展開になることもあるのだと実感しました。

40歳を過ぎて、人生は面白いものだと改めて感じています。支援する側、される側という関係から始まり、長い年月をかけて、このような素晴らしい関係を築けたことを嬉しく思います。来年もまた、皆様の前でお話しできることを楽しみにしています。ありがとうございます。



佐賀県社会福祉協議会 まちづくり課 課長
小松美佳氏

退任の挨拶



前会長
小石 正明

この度、4月1日付で鳥栖市社会福祉協議会会長を退任することとなりました。

平成24年7月より、約11年半にわたり、皆様のご指導ご鞭撻を賜りながら、会長の職を務めさせて頂いていただきました。心より厚く御礼申し上げます。振り返れば、会長就任当時は、東日本大震災からの復興支援や高齢化社会への対応など、山積する課題に直面していました。しかし、「共に支えあい、幸せを感じるまち 鳥栖」という基本理念を胸に、皆様と共に歩み、ボランティア活動の推進、地域福祉の振興、子育て支援など、様々な事業に取り組んでまいりました。

近年は、第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、社会福祉協議会の役割を見直し、より効果的な支援体制の構築に努めました。具体的には、関係機関との連携を強化し、情報共有や共同事業の推進などに取り組みました。その結果、地域住民のニーズに迅速かつ的確に対応できる体制を構築できたと確信しております。

これらの事業が、鳥栖市における福祉の向上に少しでも貢献できたのであれば、大変幸いです。会長職を退任するにあたって、皆様に心から感謝申し上げます。これまでご支援ご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございます。

今後は、一市民として、鳥栖市の更なる発展のために貢献していきたいと考えております。

結びに、鳥栖市社会福祉協議会が、これからも地域住民の皆様と共に、より温かい、より住みやすいまちづくりを目指して発展していくことを心より祈念申し上げます。

就任の挨拶



新会長
天野 昌明

この度、4月1日付で鳥栖市社会福祉協議会会長に就任いたしました。会長の重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。

鳥栖市社会福祉協議会は、昭和43年に社会福祉法人の認可を受けて半世紀以上が経ちますが、前小石会長様をはじめ歴代の会長、役員、関係各位のご尽力により、鳥栖市における地域福祉活動の中心的な役割を担う団体として、地域福祉の推進、ボランティア活動の支援、福祉情報の提供など、様々な事業を展開しております。

近年、コロナ禍や自然災害、そして社会を取り巻く環境が大きく変化する中、高齢化の進展や貧困問題の深刻化など、新たな課題も次々と顕在化しており、改めて人と人の繋がりや地域社会での支えあいが重要であると考えています。

このような状況下において、鳥栖市社会福祉協議会は、基本理念である「共に支えあい、幸せを感じるまち 鳥栖」を掲げ、市民の皆様が安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、これまで以上に鳥栖市や地域団体、地域の皆様方と連携し、市民の皆様一人ひとりが笑顔で暮らせるまちづくりに貢献できるように取り組んでいます。

今後も、鳥栖市社会福祉協議会の役員、職員が丸となつて、地域福祉の充実に向けて精一杯努力してまいりますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 鳥栖市社会福祉協議会 令和7年4月採用 正規職員募集中

- 【勤務地】 社会福祉法人 鳥栖市社会福祉協議会
〒841-0051 鳥栖市元町 1228-1
- 【採用人数】 若干名
- 【受験資格】 ① 平成2年4月2日以降に生まれ、短大卒程度の学力がある人
(令和6年3月卒業見込みの人を含む。)
② 普通自動車運転免許(AT車限定可)を取得している人
(令和6年4月1日までに取得見込みの人を含む。)
- 【試験の流れ】 プレエントリー 令和6年7月1日(月)～9月20日(金)
本エントリー 本エントリーの案内到着後～9月30日(月)
第1次試験(WEB) 令和6年10月7日(月)～10月20日(日)
第2次試験 令和6年11月10日(日)
※プレントリーをいただいた住所に「本エントリーの案内」を郵送します。
- 詳細は鳥栖市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。



プレントリー
申込QRコード

～赤い羽根共同募金を活用した事業のご紹介～

毎年皆様からご協力いただいている赤い羽根共同募金は、県内の福祉施設への助成や、市内の高齢者・障害者(児)への支援、福祉団体への助成など様々な形で地域福祉の推進のために使われています

〈福祉団体への助成〉

今年度、市内で2団体が助成を受けられました。

- ・社会福祉法人かだん
就労継続支援 B 型事業所はな：中型物置
- ・社会福祉法人コスモス夢工房：車両

社会福祉法人かだん 就労継続支援 B 型事業所はな



今回、赤い羽根共同募金配分申請を行い、中型物置の支給を頂き誠にありがとうございました。就労作業の備品収納として、使用させて頂きます。収納スペースがあまりなかった分、物置を有効活用することによって、一日の作業効率が改善されます。支援の質を保ちながら、工賃向上を目指し、より良い環境で作業が出来る事を嬉しく思います。

〈福祉教育推進事業〉

本会では、市内の小中学校や高校等に伺い、高齢者疑似体験や妊婦体験、車いす体験などを通じて、当事者の方の生活の一部を少しでも感じてもらうためのメニューを用意しています。また、車いすユーザーの方にご協力いただき、日常生活に関する講話をしていただいています。

今年度は、6月に市内の小学校3校と高校1校にそれぞれ伺い、講話と車いす体験を実施しました。講話を聞いた児童の皆さんからは「車いすの方がどれだけ大変な思いをされているか知れてよかった」、「普段何でもないと思っている段差でも気にかけてあげようと思った。」などの感想が聞かれました。



赤い羽根共同募金を財源に購入した高齢者疑似体験セットです!



6月18日 しょうがい生活支援の会すみか代表 芹田氏による講話の様子 (若葉小学校4年生)



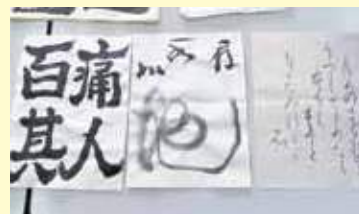
鳥栖市身体障害者福祉センター



身体障害者福祉センターでは、身体にハンディをお持ちの方が、安心して社会参加や仲間づくりができるよう各種講座や福祉・生活相談を行っています。

市内在住の身障者手帳をお持ちの方で「講座に参加したい」「日常の悩みごと」などがありましたらお気軽にご来館、ご相談ください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	月～金曜日
午前	生花/陶芸 9:30～11:30	洋裁 10:00～11:30	絵画 13:00～12:00	陶芸 9:30～11:30	福祉・生活相談 10:00～12:00	リハビリ 10:00～12:00
午後		編物 13:00～15:00		パソコン 13:00～15:00	書道 13:00～15:00	リハビリ(要予約) 13:30～15:30



問い合わせ：鳥栖市身体障害者福祉センター（鳥栖市社会福祉会館内）TEL 85-3616 FAX 85-3617

鳥栖市ファミリー・サポート・センター

利用会員(子育て援助をしてほしい方)、協力会員 ※サポーター(子育て援助をしたい方)、両方会員(援助をしてほしい方・したい方)が一時的な子育てを助け合う有償ボランティア組織です。

会員さんからサポート活動についての感想をいただきました♪

利用会員の声

初めての子育て、移住などもあり子どもを預けるにもどうしたらいいのかわからない時に相談したのがファミサポでした。1対1での預かりも、子どもにとっていい影響ばかりで本当に助かっています。



協力会員の声

最初は泣きながらずっとハイハイしていましたが、今ではひとりで歩くようになったりオムツを自分で持ち上げるようになったりと、たくさんの成長を見ることができ、とても嬉しく思います。サポートしながら毎回「元気」をもらっています♡



ファミサポを利用してみませんか？

利用には会員登録(予約制)が必要です。
まずは会員登録を♪(無料)

こんな時に利用できます

- ・ 保護者の外出・リフレッシュの時の預かり
- ・ 産前産後の保育施設への送迎
- ・ 保育施設へのお迎え後、預かり(残業時など)
- ・ 園行事、学校行事の時のきょうだいの預かりなど

《問い合わせ》

鳥栖市ファミリー・サポート・センター
〒841-0051 鳥栖市元町1228番地1
TEL 0942-81-5477 (平日9:00~17:00)



児童センター・子育て支援センター



出張児童センター「あそびフェスタ～おもいっきりあそんじゃ王国～」

令和6年6月15日(土)にサロンパスアリーナで実施しました。



緑生館学生ボランティアの協力もあり、参加者250人がサスケ風コーナー、ゲームコーナー、工作コーナーなど様々な遊びをして楽しい時間を過ごしました。次回開催をお楽しみに



パパッコラブ「普通救命講習Ⅲ」参加者募集

乳幼児に対する心肺蘇生法を中心に止血法、異物除去、AEDの取扱いなどを学ぶ講習です。

対象：鳥栖市内在住 子育て中のパパ・もうすぐパパになる方

日時：11月30日(土) 9時～12時

会場：鳥栖市社会福祉会館 体育館

講師：鳥栖消防署

定員：20名

申込方法：QRコードか電話でお申込み下さい。

お問合せ：鳥栖市児童センター ☎85-3616



中学生・高校生に 自習室を開放しています



日時：月～金曜日 9時～17時

毎週土曜日 9時～15時30分

(祝日・年末年始除く)

※館内は飲食できません。(水分補給可)
(中庭・館外に飲食スペースを設けています)

場所：鳥栖市社会福祉会館

対象：鳥栖市在住の小学生・中学生・高校生

定員：16人(予約不要)

利用方法：当日受付

